

道路 土木 分野 一般構造用

ZAM[®] 製鋼管環境にやさしい、省資源対応の特殊めっき鋼管。
各種杭、フェンス用支柱として大活躍！H28年度版防護柵の設置基準に
各種防護柵に適用可能な材料として
JIS G 3323 (ZAM[®]) が追記！ZAM[®] 製鋼管とは**種類** 亜鉛、6%アルミニウム、3%マグネシウムのめっき層を持つ新しい溶融めっき
です。[JIS G 3323対応可]**特長** ①3%のマグネシウムの添加により、優れた耐食性と犠牲防食能を兼ね備えています。
②長期耐久性によるメンテナンスコスト低減が図れます。
③少ないめっき付着量で高い耐食性を示すことから、環境負荷が少ない、環境に
優しい製品です。**用途** 一般構造用の様々な用途・分野 (HDZ鋼管代替として) への適用が可能なプレ
めっき鋼管です。POWERED BY
ZAM[®]
www-zam.nipponsteel.com

※「ZAM」は、日本製鉄株式会社の登録商標です。

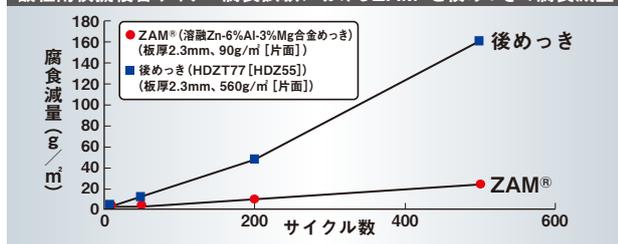
ZAM[®] 製鋼管の特性①優れた耐食性と犠牲防食作用を
誇ります。

- ・溶融亜鉛めっき鋼管と比較して、耐赤錆性がきわめて優れています。
また、塩害環境下で特に優れた耐食性を示します。
- ・疵付部においては、めっき層から溶け出したマグネシウムを含む緻密な
亜鉛系保護被膜が疵部を覆うことにより、優れた耐食性を発揮します。

◎ZAM[®]鋼板の耐食性については建設大臣認定機関で審査証明
を取得済みです。

(一財) 日本建築センター「BCJ-審査証明-85」

(一財) 土木研究センター「建技審査 第0122号」 ※日本製鉄(株)資料より

酸性雨模擬複合サイクル腐食試験におけるZAM[®]と後めっきの腐食減量②切断面の鋼素地を保護し、赤錆の
進行を防ぎます。マグネシウムを含む亜鉛系保護生成物が端面を覆い、赤錆の進行を
防ぐ機能を持っており、鋼素地の腐食の進行を抑制します。

③キズがつきにくく、美観を保ちます。

めっき層が強固なため、キズが付きにくく美しさが長持ちします。

他めっき品との比較

	硬さ (Hv)	スクラッチ試験
		疵付荷重/gf
ZAM [®]	140 ~ 160	16
熱浸漬めっき亜鉛	55 ~ 65	5
溶融亜鉛めっき鋼板	55 ~ 65	4

※社内試験による

④作業能率を上げ、トータルなコスト
低減が図れます。穴あけ加工部の補修は簡単でよいなど、作業効率を上げてトータルなコスト
低減が図れるため、熱浸漬亜鉛めっき中径角管の代替として適しています。

化学成分・機械的性質

種類の記号		化学成分 (%)					機械的性質			曲げ試験		へん平試験 (平板間の距離) (Dは管の外径)
JIS	日新記号	C	Si	Mn	P	S	引張強さ (N/mm ²)	降伏点 又は耐力 (N/mm ²)	伸び (%)	曲げ角	内側半径 (Dは管の外径)	
STK290	NTKC290	-	-	-	0.050以下	0.050以下	290以上	-	30以上	90°	6D	2/3D
STK400	NTKC400	0.25以下	-	-	0.040以下	0.040以下	400以上	235以上	23以上	90°	6D	2/3D
STK490	NTKC490	0.18以下	0.55以下	1.65以下	0.035以下	0.035以下	490以上	315以上	23以上	90°	6D	7/8D
STK500	NTKC500	0.24以下	0.35以下	0.30~1.30	0.040以下	0.040以下	500以上	355以上	15以上	90°	8D	7/8D
STK540	NTKC540	0.23以下	0.55以下	1.50以下	0.040以下	0.040以下	540以上	390以上	20以上	90°	6D	7/8D

道路・土木分野向け鋼管の主な製造可能範囲 (一般構造用炭素鋼鋼管)

製造可能範囲

外径 (mm)	呼称厚さ (mm)												
	1.6	1.8	2.0	2.3	2.6	2.8	3.2	3.5	4.0	4.5	5.0	5.5	6.0
48.6													
60.5													
76.3													
89.1													
101.6													
114.3													
139.8													

※上記以外の寸法も製造可能です。また、種類により製造可能範囲が異なる場合がございますのでご相談ください。※穴あけ、切断端面の補修等が必要な場合はご相談ください。

用途例



各種フェンス支柱



フェンス施工用鋼管杭



歩行者用柵部材



日鉄めっき鋼管株式会社

本社	〒104-0032 東京都中央区八丁堀4丁目11番5号 (八丁堀岡谷ビル4F) TEL.03-5117-4211 FAX.03-5117-4220
東京営業所	〒104-0032 東京都中央区八丁堀4丁目11番5号 (八丁堀岡谷ビル4F) TEL.03-5117-4218 FAX.03-5117-4220
大阪営業所	〒541-0054 大阪府大阪市中央区南本町四丁目1番10号 (DPスクエア本町3F) TEL.06-6252-1920 FAX.06-6252-1923
名古屋営業所	〒450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南2丁目13-18 (NSビル6F) TEL.052-588-2370 FAX.052-588-2371

販売店